

はじめに

ミツバチの誕生は人類誕生のはるか昔、500万年前とされています。ミツバチはその本来の活動である花蜜や花粉を集めることを通じて、豊かな地球の自然、森や草原も育んできました。私たち人類も1万年以上昔のハチミツを求め、危険を顧みないハニーハンティングの時代からミツバチと関わり、やがて飼育し蜂蜜や蜜蝋、ローヤルゼリーを利用するようになりました。さらに人類が作物を育てる農業を始めてからは、農産物の受粉というミツバチからの恩恵を受けてきました。人類の豊かな暮らしの一翼をミツバチは支えてきたと言ってよいでしょう。西洋社会では、ミツバチは神の使いとも呼ばれ代々のローマ法王や皇帝ナポレオンの紋章にも使われてきました。

私のミツバチとの出会いは、日本在来種みつばちの会会長・藤原誠太氏との出会いが始まりです。そして、背中を押されて始めたのが「銀座ミツバチプロジェクト」の活動です。その後、銀座の街中で分封してきたハチを保護したことからニホンミツバチの飼育も始めました。そして、2010年には一般社団法人日本在来種みつばち協会を設立し、ニホンミツバチの飼育を主体に初心者向けの養蜂講習会を毎年複数回にわたり開催し、都市養蜂や趣味養蜂も含む、秩序あるミツバチ飼育者層の拡大に努めてまいりました。

2012年6月には養蜂振興法が改正(2013年1月1日施行)され、養蜂業者だけでなく趣味のミツバチ飼育者やニホンミツバチの愛好家も含めて、1群でもミツバチを飼育する者は蜜蜂飼育届を出すことが義務づけられました。したがって、今後は今まで以上に周囲の蜜・花粉源量の状況に配慮し、周辺に迷惑のかからぬように十分注意し、病気や害虫・害獣の発生にも気を使う必要があります。

このたび養蜂振興協議会では、ミツバチ研究者、行政担当者、養蜂業者、養蜂関連商品販売業者、ハチミツ販売業者、都市養蜂やニホンミツバチ飼育団体代表者など、幅広い分野のミツバチ飼育の専門家の方々にご参集いただき、全国6カ所で指導者を対象にした「ミツバチ飼育技術講習会」を開催することになりました。

この講習会では、セイヨウミツバチ、ニホンミツバチ両種の違いや飼育方法の基礎知識を伝えると同時に、ミツバチ飼育における季節ごとの注意点を詳しく解説し、ミツバチ飼育の基本となる技術普及に力を置いています。本書は、その講習会の手引き書として、養蜂業者、趣味の飼育者、ニホンミツバチの愛好家の方々を対象に、それぞれの立場において安全なミツバチの飼育とミツバチの重要性、そして魅力を社会に伝えていただくことを目的に作成いたしました。本書が広く活用されることを願っております。

平成26年7月

養蜂振興協議会 会長 高安 和夫

はじめに.....2

1 ミツバチの飼育とは

- 1) ミツバチと養蜂の魅力.....4
 - ① ミツバチの特徴 4
 - ② 養蜂の魅力 4
- 2) 世界と日本の養蜂の歴史.....4
 - ① ミツバチの種類と品種改良 4
 - ② ハニーハンティングから巣箱飼育へ 5
 - ③ ニホンミツバチ養蜂の歴史 5
 - ④ 導入種と在来種の共存にむけて 5
- 3) 養蜂の現状と課題.....6
 - ① 日本全体の養蜂では 6
 - ② ニホンミツバチの養蜂では 6
 - ③ 農業の現場では 6
 - ④ 都市養蜂では 7

2 ミツバチの特性と飼育までの準備

- 1) ミツバチの特性.....8
 - ① ミツバチの体のしくみと機能 8
 - ② ミツバチの群と一生 8
 - ③ 巣の構造 9
- 2) セイヨウミツバチとニホンミツバチ.....9
 - ① 両種のちがい 9
 - ② 両種が同地域に共存するためのポイント 9
- 3) ミツバチ飼育の届出.....10
 - ① 届出の手続きと内容 10
 - ② 届出の仕方 10
 - ③ 転飼許可申請とその他の注意点 10
- 4) 蜂具と服装、心構え.....11
 - ① 必要な蜂具と工夫 11
 - ② 作業時の服装と心構え 11
 - ③ 刺された時の対処法 11
- 5) 種蜂の入手.....12
 - ① 購入する場合のポイント 12
 - ② 捕獲する場合のコツ 12
- 6) 巣箱の用意.....14
 - ① 種類による構造のちがい 14
 - ② 巣箱の選び方のコツ 15
 - ③ ミツバチの生息環境と巣箱設置のポイント 15
 - ④ 設置にあたっての注意点 16
- 7) 人工巣、巣礎の用意.....16
 - ① 人工巣、巣礎の上手な使い方 16
 - ② 雄バチ専用巣礎のダニ対策への活用法 16

3 飼育管理の手順と方法

- 1) 年間の飼育管理の流れ.....17
 - ミツバチ飼育管理カレンダー 17
- 2) 春(3~5月)の管理.....18

- ① 見回りと内検 18
- ② 観察記録のすすめ 19
- ③ 春の給餌 21
- ④ 分封の予防 21
- ⑤ 分割による増群と女王バチの管理 22
- ⑥ 採蜜と蜜の分離 23
- 3) 夏(6~8月)の管理.....24
 - ① 夏の給餌 24
 - ② 逃去の予防 24
 - ③ 暑さ対策 24
- 4) 秋から冬(9~2月)の管理.....25
 - ① 越冬にむけた給餌 25
 - ② 盗蜂の予防 25
 - ③ 蜂群の合同 25
 - ④ 寒さ対策 26

4 ミツバチの保護

- 1) 病気.....26
 - ① ミツバチと病気 26
 - ② 法定伝染病(腐蝕病) 26
 - ③ 届出伝染病 27
 - (チョーク病/ノゼマ病/バロア病/アカリダニ症)
 - ④ その他の病気(サックブルード病など) 28
- 2) 害虫・害獣.....28
 - ① スズメバチ 28
 - ② スムシ 28
 - ③ アリ 29
 - ④ クモ 29
 - ⑤ カエル 29
 - ⑥ クマ 29
- 3) 農業被害.....30
 - 被害を避ける管理のポイント 30
- 4) さまざまなトラブル.....30
 - ① 糞害への対処 30
 - ② ポリネーション利用の注意点 31

5 蜜・花粉源植物の確保

- 1) 蜜・花粉源植物とミツバチの訪花行動.....32
 - ① 主要な蜜・花粉源植物 32
 - ② ミツバチの訪花スペクトルが広い理由 33
 - ③ ミツバチの訪花活動の決定要因 33
- 2) 花粉源植物の重要性.....34
 - ① 花粉源植物が重要な理由 34
 - ② 重要な花粉源植物 34
- 3) 蜜・花粉源植物の保護と増殖.....35
 - ① 蜜源植物確保の重要性 35
 - ② 蜜・花粉源植物の把握と適正配置にむけて 35

本書編集にあたっての参考文献.....35